

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: 結核 229 例
- 3 類感染症: 細菌性赤痢 2 例 (感染地域: アンゴラ/ガーナ/南アフリカ 1 例、モロッコ 1 例)、腸管出血性大腸菌感染症 39 例 (うち有症者 29 例、HUS なし) [感染地域: 国内 38 例、中国 1 例 国内の多い感染地域: 福岡県 8 例、石川県 7 例、東京都 4 例 年齢群: 10 歳未満 (14 例)、10 代 (4 例)、20 代 (6 例)、30 代 (4 例)、40 代 (1 例)、50 代 (3 例)、60 代 (4 例)、70 歳以上 (3 例) 血清型・毒素型: O157 VT1・VT2 (13 例)、O157 VT2 (10 例)、O26 VT1 (6 例)、O111 VT1・VT2 (2 例)、O20 VT1 (1 例)、O91VT1 (1 例)、O103 VT1 (1 例)、O121 VT2 (1 例)、O157VT1 (1 例)、その他/不明 (3 例)]、腸チフス 1 例 (感染地域: インドネシア)
- 4 類感染症: E 型肝炎 1 例 (感染地域: 宮城県、感染源: 豚生レバー)、A 型肝炎 1 例 (感染地域: 大阪府)、オウム病 1 例 (感染地域: 神奈川県、感染源: 不明)、つづが虫病 4 例 (感染地域: 山形県 2 例、群馬県 1 例、長野県 1 例)、日本紅斑熱 1 例 (感染地域: 鹿児島県)、マラリア 1 例 (原虫種: 熱帯熱、感染地域: ギニア)、レジオネラ症 4 例 (肺炎型 3 例、無症状病原体保有者 1 例) [年齢群: 60 代 2 例、70 代 1 例、80 代 1 例 感染地域: 埼玉県 1 例、千葉県 1 例、兵庫県 1 例 (温泉)、三重県 1 例]
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 8 例 (すべて腸管アメーバ症) [感染地域: 国内 7 例、国内/タイ 1 例 感染経路: 経口 2 例、性的接触 (異性間) 2 例、不明 4 例]、ウイルス性肝炎 1 例 (B 型、感染経路: 性的接触 (異性間))、急性脳炎 1 例 (病原体不明、1 歳)、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例 (孤発性プリオン病古典型)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2 例 (ともに 30 代)、後天性免疫不全症候群 11 例 (AIDS 2 例、無症候 8 例、その他 1 例) [感染地域: 国内 9 例、香港 1 例、国外 (国不明) 1 例 感染経路: 性的接触 8 例 (異性間 4 例、同性間 4 例)、不明 3 例]、髄膜炎細菌性髄膜炎 1 例 (感染地域: 国内)、梅毒 4 例 (早期顕症 I 期 1 例、早期顕症 II 期 2 例、無症候 1 例)、破傷風 1 例 (90 代)

定点把握の対象となる 5 類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第 12 週以降減少が続いているが、過去 5 年間の同時期 (前週、当該週、後週) と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県 (6.9)、秋田県 (5.6)、北海道 (4.8)、岩手県 (4.4) が多い。  
 小児科定点報告疾患: RS ウイルス感染症は 262 例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では、1 歳以下の報告数が全体の約 67% を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では富山県 (1.17)、石川県 (1.14)、島根県 (1.04)、青森県 (0.98) が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い状態である。都道府県別では富山県 (5.3)、新潟県 (4.2)、北海道 (4.0) が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は微増し、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い状態である。都道府県別では福井県 (12.4)、大分県 (12.4)、鳥取県 (12.1)、三重県 (11.8) が多い。水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮崎県 (3.6)、福井県 (3.5)、富山県 (3.3) が多い。手足口病の定点当たり報告数は 2 週連続で増加した。都道府県別では熊本県 (2.4)、佐賀県 (1.8)、長崎県 (1.3) が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は 2 週連続で増加し、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い状態である。都道府県別では石川県 (3.3)、富山県 (3.0)、新潟県 (2.1) が多い。百日咳の定点当たり報告数は微減した。都道府県別では千葉県 (0.08)、新潟県 (0.05)、福岡県 (0.05) が多い。風しんの報告数は増加した。都道府県別では東京都、大阪府、兵庫県から各 2 例の報告であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は 2 週連続で増加した。都道府県別では福岡県 (0.81)、広島県 (0.78)、香川県 (0.72) が多い。麻疹の報告数は微減し、30 都道府県から 210 例の報告があった。都道府県別では東京都 35 例、千葉県 28 例、埼玉県 27 例、栃木県、神奈川県各 18 例、北海道 16 例、広島県 12 例、宮城県 11 例、福岡県 7 例、山梨県 6 例、大阪府 4 例、茨城県、兵庫県、徳島県各 3 例が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では新潟県 (1.8)、高知県 (1.4)、秋田県 (1.3) が多い。  
 基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い状態である。都道府県別では沖縄県 (3.1)、福島県 (2.0)、群馬県 (1.5) が多い。成人麻疹の報告数は 17 都道府県から 68 例と 3 週連続で増加した。東京都 21 例、宮城県 8 例、神奈川県 7 例、北海道、埼玉県各 5 例、岩手県、千葉県、広島県各 3 例、福島県、茨城県、大阪府、島根県各 2 例、秋田県、山形県、栃木県、群馬県、岐阜県各 1 例の報告があった。

	1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点							
		RS ウイルス感染症	咽頭結膜熱	細菌性咽頭炎	A 群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	成人麻疹
(定点当たり)																						
愛媛県	1.6	.1	.1	2.8	8.4	2.9	.0	.9	1.4			.4		.7		1.8			1.2			
近県	香川県	1.5	.1	.5	1.2	4.7	1.1	.1	.3	.7			.7	.0	.4	1.0						
	徳島県	.6	.0	.3	1.9	8.4	1.8	.1	.6	.5			.1	.1	.1	.5						
	高知県	1.4	.1	.4	2.0	6.4	2.7	.2	.8	.7			.2		1.4	2.0			.3			
全国	1.2	.1	.4	2.6	6.5	2.1	.3	.8	.7	.0	.0	.2	.1	.5	.0	.8	.0	.0	.4	.0	.1	
北海道	4.8	.3	.3	4.0	4.3	1.6		1.6	.4	.0	.0	.0	.1	.2	.0	.5			.1	.0	.2	
東北	2.8	.1	.4	2.2	6.0	1.4	.2	1.0	.6	.0	.0	.1	.1	.7	.0	.4			.7	.0	.2	
関東	4	.0	.3	3.0	5.3	1.9	.3	.8	.8	.0	.0	.1	.2	.4	.0	1.2			.6	.0	.5	
甲信越北陸	.8	.0	.7	3.3	7.8	2.2	.2	2.0	.5	.0	.0	.1	.0	.7	.0	.9	.0		.5	.0		
東海	.7	.0	.3	2.2	6.8	2.2	.1	.6	.7	.0	.0	.2	.0	.4	.0	.5			.4	.0	.0	
近畿	.5	.1	.4	1.8	8.1	2.2	.2	.6	.6	.0	.0	.1	.0	.5	.0	.5	.0		.3	.0	.0	
中国四国	1.1	.1	.5	2.3	7.1	1.9	.2	.5	.8	.0	.0	.4	.1	.5		.9	.0		.3	.0	.1	
九州沖縄	1.9	.2	.4	2.4	6.5	2.5	1.1	.3	.8	.0	.0	.5	.0	.5	.1	1.0	.0		.3			

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻疹を除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。 (5月23日集計) 愛媛県基幹感染症情報センター

全国 全数把握感染症 第20週 (2007.5.14 ~ 5.20)

類 型	二類	三類感染症					四類感染症														五類感染症																		
		(2)結核	(1)コレラ	(2)細菌性赤痢	(3)腸管出血性大腸菌感染症	(4)腸チフス	(5)パラチフス	(1)E型肝炎	(3)A型肝炎	(4)エキノコックス症	(6)オウム病	(10)Q熱	(12)コクシジオイデス症	(18)つつが虫病	(19)デング熱	(23)日本紅斑熱	(24)日本脳炎	(28)ブルセラ症	(30)発疹チフス	(32)ポツリヌス症	(33)マラリア	(35)ライム病	(39)レジオネラ症	(40)レプトスピラ症	(1)アメーバ赤痢	(2)ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3)急性脳炎	(4)クリプトスポリジウム症	(5)クロイツフェルト・ヤコブ病	(6)劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7)後天性免疫不全症候群	(8)ジアルジア症	(9)髄膜炎菌性髄膜炎	(10)先天性風しん症候群	(11)梅毒	(12)破傷風	(13)ドウ球菌感染症	(14)バンコマイシン耐性腸球菌	
第20週報告数	全 国	229		2	39	1		1	1		1		4		1					1		4		8	1	1		1	2	11		1		4	1				
	四 国	愛 媛 県	4																																				
		香 川 県	1																												1								
		徳 島 県	5																																				
		高 知 県	3																																				
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道	8																							1				1									
		東 北 道	17			1	1		1					2											1					1			1						
		関 東 圏	71		1	8					1			1							1		2		2				7					1	1				
		甲信越北陸	19			9								1																1									
		東 海 道	22		1	4																		2		3													
		近 畿 圏	24			7																			2		1				1								
中国四国		25			4																									1						1			
九州沖縄	43			6																																2			
週 推 移	全 国	229		2	39	1		1	1		1		4		1					1		4		8	1	1		1	2	11		1		4	1				
	19週	177		13	46	1	1		5		1		1	1								7		9	1	3		3	1	14	2	1		9	2		2		
	18週	67	1		23	1							2										6		4				4					3	1		1		
	17週	200	1	3	25		1		4				1	4	1		2			1		9	1	9	2	2	1		1	8	2			8	1				
2007年累積数	全 国	1860	5	182	353	14	7	19	68	5	9	3	2	57	21	1	1	1		2	16		144	3	273	61	81	2	60	43	471	18	9	188	27		29		
	四 国	愛 媛 県	27		1	4				1																1	1	1		2					2				
		香 川 県	12			2							3																	1	3				3				
		徳 島 県	26			1																		1								1							
		高 知 県	20			2																			1	2			3		1				2				
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道	56		2	6	1		5		4											1		12		5	3	1		2	5	6			3			1	
		東 北 道	116	1	6	18	3	1	2	9				14	1						2			6		20	4	5		2	3	16		2	8	3		3	
		関 東 圏	525	2	77	61	3	4	3	20	1	3		2	8	4						10		36	2	107	18	27	1	15	12	231	12	2	64	7		14	
		甲信越北陸	144		7	54	1		4						5	1								13	1	11	5	6	1	5	3	14	1		8	2		2	
		東 海 道	276		25	24	1		7	6		2			4	2								33		34	5	3		6	4	77		1	34	2		5	
近 畿 圏		246	2	52	66	5	2	2	14		3			9	8						4		20		69	14	20		12	6	85	4	2	18	3		3		
中国四国		201		9	54				6		1	3		6	2		1								10	8	5		11	4	16	1		17					
九州沖縄	296		4	70				9					11	3	1									17	4	14		7	6	26		2	36	10		1			

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。  
 ・2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。